

# 中予地方局産業振興課『普及だより』

平成 30 年 2 月発行

中予地方局産業振興課 〒790-8502 松山市北持田町 132 番地

tel (089) 909-8761

伊予農業指導班 〒799-3122 伊予市市場 127 番地 1

tel (089) 982-0477

久万高原農業指導班 〒791-1202 上浮穴郡久万高原町入野 263 番地

tel (0892) 21-0314



## 【地域農業情報-①】

### 中山栗を中山間地域活性化の核に ～目指せ！ 200kg/10a～

中山栗は大粒で甘く、愛媛県の「愛”あるブランド」に認定され、全国的にも認知度が高い伊予市の特産品です。しかし、近年、生産量が著しく減少しており、産地の維持が困難な状況になっています。

こうした中、伊予市は、中山町に松山自動車道スマートインターが 31 年度に開設されることを機に、栗を核に中山間地域の活性化に取り組むこととしています。

そこで、生産増を目標に伊予市、JA えひめ中央、中予地方局等の関係機関が連携し、10a 当たり 200 kg を確保できる技術確立を目指します。

#### ■ 中山栗の課題を生産者と JA、地域農業室の担当者が検討

これまでの検討のなかで、生産者からは「剪定や防除の基本管理ができていない」、「基本管理の徹底で反収 200kg はとれる」といった声がありました。こうしたご意見を踏まえ、今後の技術対策に活かしていきます。

#### ■ 生産者大会で意欲を喚起

JA えひめ中央中山支部栗部会が、平成 29 年 11 月 30 日、JA 中山支所で、初めて「くり生産者大会」を開催。講師の県果樹研究センター、矢野センター長が、効果的な施肥方法等について説明したうえで、中山町の土壌がくり栽培に適していることを強調。JA からは、これを機に生産拡大に取り組むよう呼びかけました。



JA えひめ中央くり生産者大会

## 【地域農業情報-②】

### 自動灌水装置の導入によるピーマン栽培の省力化 ～夏秋ピーマン・久万高原町～

久万高原地域における夏秋ピーマン生産者の高齢化に対応した技術として、灌水作業の省力化が可能となる「日射制御型自動灌水装置」の導入を支援し、ピーマン栽培の省力化と安定生産を推進しています。

#### ■ 日射制御型自動灌水装置のしくみ

ソーラーパネルで動くポンプで貯水タンクに揚水し、水位が上限まで達すると電磁弁が開き圃場に配水します。水位が下限まで低下すると電磁弁が閉鎖し再度貯水が始まります。日射がある間は貯水と配水を繰り返します。夜間はポンプが停止し、曇天や雨天時には日射量に応じた灌水が行われます。

#### ■ 導入のメリット

- ・電源のない圃場でも設置可能
- ・資材費用は 10a 当たり 25 万円程度と比較的安価
- ・灌水作業が自動化されるため、灌水作業時間が大幅に削減

#### ■ 推進状況

今年度新たに 2 戸の農家が自動灌水装置を導入。

実証圃での導入効果の検証では、10a 当たり出荷量対比で 138%（ピーマン部会平均対比）、灌水作業時間削減率は 75%（手灌水農家対比）となりました。

#### ■ 農家の声

導入した農家からは、「省力化した灌水作業時間を栽培管理など他の作業にかけられる」、「留守時でも自動で灌水してくれるので便利である」との声が聞かれています。



自動灌水装置現地研修

【地域農業情報③】

## 農福連携の取組み

### ～農業者と障がい者がともに支え合う社会づくりを目指して～

農業従事者の高齢化が進んでいる中で、地域農業の維持を図るためには、労働力の確保が重要な課題となっております。一方で、近年、障がい者等の就労機会の確保・自立支援の観点から、農業への就労も視野に入れた活動が増えています。

そこで、中予地方局では、昨年度から「農福連携促進モデル事業」を実施し、農業分野への障がい者の就農促進や福祉事業所スタッフの技術力向上支援に取り組んでいます。

#### ■ 農業者と福祉事業所のマッチング

農業分野への事業展開を目指そうとする福祉事業所と農業者をマッチングし、障がい者の農作業体験を行いました。

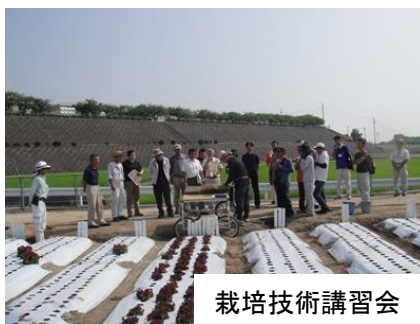
この体験を通じて、これまでに伊予柑の収穫、レタスやタマネギの定植・収穫作業等について、障がい者が農作業の補完となりうる事が確認できました。



タマネギ苗の定植

#### ■ 福祉事業所スタッフの技術力向上講習会

農業生産活動に関心のある福祉事業所を対象に、農業技術の講習会を開催し（5回/年）、スタッフの技術力アップを図りました。



栽培技術講習会



伊予柑の収穫

#### ■ 今後の取組み

引き続き農業分野での障がい者就農の意識啓発を図り、農業者と障がい者がともに支え合う社会づくりを目指していきます。

【地域農業情報④】

## 雑穀等を活用した地域活性化の取組み！

### ～地域固有農産物の伝承と新商品の開発～

久万高原町に古くから受け継がれている「地とうもろこし」や「雑穀」等をはじめとした農産物の伝承とこれらを活用した新たな商品の開発を行うことにより地域の活性化を図ろうと“高原地域固有農産物発掘活用モデル事業”に取り組んでいます。

#### ■ 地域固有農産物の伝承と新商品の開発支援

地域固有農産物の伝承を目的に、地とうもろこし等 64 系統の種子の保存に取り組んでいます。また、起業農家や道の駅等が行う新商品の開発を支援し、商品化を図りました。



食育活動  
(たかきびだんご汁)



はなことはちみつクッキー  
(地とうもろこし粉使用)



雑穀リゾット  
(こきび、たかきび入り)



雑穀トマトソース  
(たかきび入り)

#### ■ 地域活性化を目指して

雑穀を活用した商品化が進む中、原材料（こきび、たかきび等）の確保が課題となったため、栽培マニュアルの作成や講習会を開催する等、雑穀の安定生産に努めました。今後も、関係機関と連携し、地域固有の農産物を活用した商品開発（6次産業化）を支援し、地域の活性化を目指します。



雑穀栽培講習会

【お知らせ情報①】

## 県育成品種「さくらひめ」、「紅い雫」を作いませんか ～高品質安定生産で所得向上を～

### ◆【さくらひめ】

「さくらひめ」はシネンシス系デルフィニウムの交配品種で、薄いピンク色の花が桜を連想させる可憐な花です。12月のクリスマス、3～4月の卒業・入学式、6月のブライダルシーズンまで年3回の収穫が可能で、花持ちのよさも相まって人気が高まっています。



いちご「紅い雫」

### ◆【紅い雫】

いちご「紅い雫」は、「あまおとめ」と「紅ほっぺ」の交配品種で、果実全体が赤く色づき、糖度が高く酸味もある濃厚な味わいで、雫のような美しい果形から、生食用だけでなくスイーツのトッピング用としても人気があります。

さらに収穫開始時期が早く、長期出荷が可能で、土壌病害(萎黄病)に強いなどの栽培上のメリットもあります。

現在、中予管内の栽培面積は、「さくらひめ」が約20a、「紅い雫」が約1.8haで、今後も栽培面積や販路の拡大が期待されており、県では、これらの品種の生産拡大に向け、優良種苗や機械・資材の導入支援を行っています。



デルフィニウム「さくらひめ」

【お知らせ情報②】

## GAPに取り組んでみませんか！ ～まずは整理整頓、次に農場内点検、さらには認証へ～

### ◆ GAPとは？

「Good Agricultural Practice」の略称で、「農業生産工程管理」と訳されており、食品安全、環境保全、労働安全などの確保を目的として「適正な農業を実施すること」です。

### ◆ どうしてGAPを導入する必要があるの？

農業者が安定した農業経営を続けるためには、信頼性の確保、環境への配慮、事故防止等の対策が重要です。農薬や農業機械をはじめ、農産物や従業員など農場に関係する管理に問題があれば、事故の発生リスクが高まります。

GAPは農産物生産において気を付けなければいけないことを農業者自らがチェックする取り組みです。農業者の皆さんは、日頃から生産物の安全を確保するための生産履歴の記帳や環境・労働の安全を確保するための点検などを行っていることと思います。GAPはこれらの取り組み状況を記録簿や掲示物によって確認しながら栽培に活かすことで、農産物の安全を確保するとともに、品質向上や資材の不在庫の減少、農作業事故の減少、従業員の責任感・自主性の向上にもつながっていきます。

### ◆ 県GAP認証制度を創設

県では、特別栽培農産物等認証制度(エコえひめ)において、新たにGAPの取り組み(食品安全、環境安全、労働安全)を付加した認証区分を平成29年12月に創設しました。



【お知らせ情報-③】

## 「一次産業女子ネットワーク・さくらひめ」のメンバー募集中！

### ◆ 「一次産業女子ネットワーク・さくらひめ」とは！

一次産業の担い手として女性の活躍が望まれる中、アグレッシブに頑張る一次産業女子(メンバー)とその活動を応援するサポーターのネットワークです。

### ◆ 支援メニュー

- (1) メンバーのネットワークづくり  
メンバーの自主的で発展的な輪を広げるための交流会の開催や全国会議への派遣
- (2) 女子力発揮商品開発プロジェクト  
サポーター企業とのマッチングにより、女性目線で開発した商品やサービスを発信
- (3) 次世代発揮リーダーゼミ  
経営感覚を身につける講義や作業機械に慣れ親しむ実技研修会の開催
- (4) 情報発信サイトの構築と情報発信  
Facebook ページを作成し、メンバーとサポーターへの情報提供や活動のPR

<https://www.facebook.com/sakurahime.network/>



### ◆ メンバー募集

自立した経営を目指している方、本事業に積極的に参加・提案していただける方、また、一次産業の魅力を広く情報発信していただける方など、女性新規就農者の方を含めて募集しています(入会費及び年会費等は不要)。

【お知らせ情報-④】

## 家族経営協定 結びませんか！

～家族みんなが経営参画～

### ◆ 家族経営協定の締結

魅力的な家族農業経営を築くには、農業に携わる家族全員が、意欲とやりがいをもって経営に参画し、それぞれの能力を発揮することが大切です。

家族経営協定の締結をきっかけとして、目指すべき農業経営の姿や、家族みんなが意欲的に働くことができる環境整備について、家族間で十分に話し合うことが農業経営の改善につながります。

○家族経営協定締結のために家族で取り決める内容(例)

- ・農業や生活のビジョン(経営方針や営農計画の樹立)
- ・生きがいのある生活(年齢・性別に見合った役割分担)
- ・労働時間、休憩、休日、報酬、家族労働の評価(働きやすい就業条件)
- ・農業者年金、世代交代(将来の経営移譲) など

家族経営協定は、夫婦や親子による認定農業者の共同申請、農業者年金の保険料に対する国庫助成などのメリットがあります。

### ◆ ライフステージの変化に合わせて協定を見直していきましょう！

家族経営協定の締結後に家族構成などが変わった場合は、農業経営や生活に新たな家族同士の関わりが生まれます。経営発展のために家族それぞれの能力が発揮できるよう、家族経営協定を見直してみましよう。

- ① 後継者の就農、② 後継者の結婚、③ 経営移譲など